

| 課題番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価結果 |
|--|---------------------------|--------------------------|------|
| 15102002 | 先史・古代社会の遠隔地交渉に関する人類史的総合研究 | 上村 俊雄（鹿児島国際大学・国際文化学部・教授） | B |
| <p>中間評価で指摘された実証研究と理論研究の乖離の問題は、未解消のまま研究が推進されたため、本研究で行った、①文献及び資料収集、②発掘調査、③蛍光、X線分析、そして④調査・分析結果に基づく考察と理論化についての達成度は、②の二箇所弥生遺跡の調査発掘、及び③の蛍光X線分析による土器の胎土分析を除くと十分とはいえず、本研究の達成度は高いとはいえない。</p> <p>研究成果について、②の弥生時代初の二次葬制の発掘は学術的価値が高い。しかし①遠隔地交渉の資料分析と理論化、③土器の蛍光X線分析結果と遠隔地交渉との関連付け、そして④の調査資料等に基づく遠隔地交渉の類型化などで、総合的な考察や検討が行われたとはいえない。従って、関連研究分野への波及性は、現段階ではそれほど大きくはない。</p> <p>今後の研究において、本調査研究の十分な資料分析と深い考察に依拠した「高次の人類史的理論」の構築が展開されることを期待したい。</p> | | | |